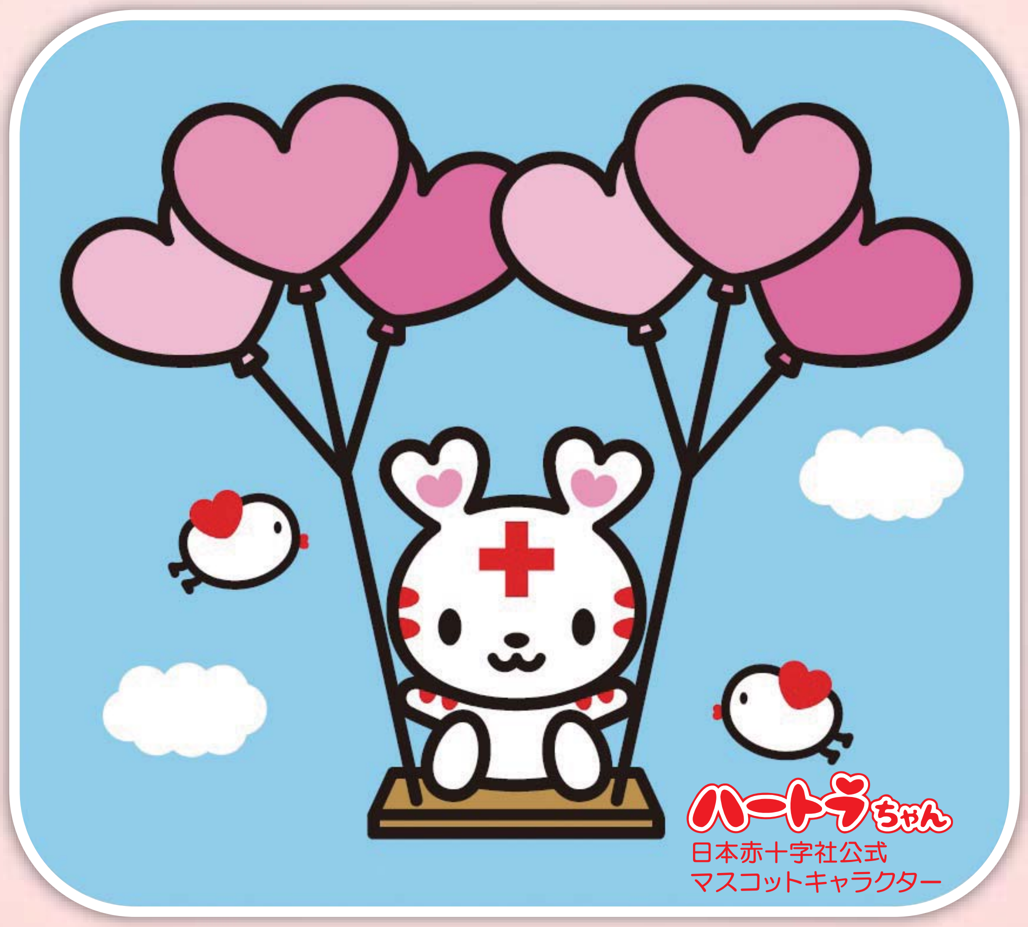
平成30年４月19日
No.75

社協だより

５月は赤十字運動月間です

今年も赤十字の活動へのあたたかいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



　昨年度、日本赤十字社島根県支部大田市地区へ皆さまからお寄せいただいた会費総額は、7,851,832円（一般7,305,832円・法人546,000円）となりました。ご協力大変ありがとうございました。日本赤十字社では国内外を問わず災害等で被害を受けられた方々への医療支援や物資支援、また防災のための講習会開催やボランティア育成を行っており、大田市地区においても、日常生活に必要な応急手当などを学んでいただく救急法や幼児安全法など講習会への講師派遣（平成29年度28件）や、災害への見舞い（平成29年度２件）、赤十字奉仕団、青少年赤十字（ＪＲＣ）の育成、大田市防災訓練へ炊出し訓練としての参加など、年間を通してさまざまな活動を行っております。

　これらの赤十字の活動は、皆様方が日本赤十字社の会員に加入して納めていただく赤十字の活動資金である「会費」と「寄付金」によって支えられています。

　どうか、日本赤十字社の活動に一層のご理解を賜り、この機会にぜひ赤十字会員にご加入下さいますようお願い申し上げます。

発　行　社会福祉法人 大田市社会福祉協議会　大田市大田町大田イ128
本　所(0854) 82-0091・温泉津支所(0855) 65-3950・仁摩支所(0854) 88-4421
http://www.ohda-shakyo.jp

平成30年度 社会福祉法人 大田市社会福祉協議会事業計画

1．基本方針

全国的に人口減少・少子高齢化の進行、地域社会や家族のあり方が大きく変化する中で、地域における新たな支え合いを住民等と専門職との連携・協働のもとで推進していくことが求められています。

本市においても、少子高齢化が急速に進行しており、核家族化の進展とともに、高齢者のひとり暮らしが大幅に増加するなど「世帯の縮小」によって、家族間の支え合いの力が弱まっています。また、ライフスタイルの多様化の中で、近所付き合いを負担に感じる人が増えるなど、地域でのつながりが希薄になり、助け合いの力が弱まっています。

こうした中で、引きこもりの増加、孤立死、児童虐待などの発見の困難な問題が表面化してきており、誰もが困難な状況に陥る可能性がある今、生活不安を抱えている世帯への支援や、全ての人を受け止めるセーフティネットの構築が大きな課題となっています。

福祉は、「支え手」と「受け手」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」を実現する必要があります。具体的には、「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「我が事」として主体的に取り組める仕組みを作っていくとともに、地域づくりの取組の支援と、公的な福祉サービスへのつなぎを含めた「丸ごと」の総合相談支援の体制整備を進めていく必要があります。

本会では、平成29年度に新たに策定した第2次大田市地域福祉活動計画の初年度として、概ね計画に沿った活動を実施することができ、地域の福祉力の向上が図られてまいりました。

平成30年度におきましても、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を基本理念とし、前述したような「我が事・丸ごと」のまちづくりをこれまで以上に地域住民の方々と協働し、親しみやすい法人運営を行いつつ、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童委員協議会や自治会、社会福祉施設など関係機関・関係団体と連携を図りながら福祉のまちづくりを推進してまいります。

2．実施事業

【推進目標1】
住民参加による地域福祉活動の推進

(1)地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進
◇地区社協連絡会及び意見交換会の開催
◇小地域福祉活動計画の策定・活動支援
◇地区社協活動支援事業
◇地域研修事業の実施
◇福祉委員活動の推進
新規 ◇地域福祉力アップ推進事業
新規 ◇地域力強化推進事業（「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業）
◇移動・外出支援に関する地域活動助成事業

(2)住民自主組織の活動支援
◇ふれあい・いきいきサロンづくりの推進
◇地域介護予防活動支援事業
◇子育て支援団体連絡会への支援
◇生活支援体制整備事業
◇レクリエーション用具等貸出し事業

(3)住民相互の助け合い意識の啓発とつながりづくり
◇地域福祉研修会の開催
◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携
◇新たな福祉課題に対応する活動の企画・検討

(4)地域福祉活動への住民及び施設・団体等の参加促進
◇障がい者社会参加促進事業の実施
・障がい者スポーツ振興事業の実施
・生活訓練事業の実施
◇障がい者週間啓発事業の開催（人権週間啓発事業との共催）
◇健康・生きがいづくりフェスティバル開催
◇社会福祉法人地域公益活動の推進
◇老人福祉センター管理運営事業
◇福祉団体等事務局受託
・大田市民生児童委員協議会
・日本赤十字社島根県支部大田市地区
・大田市共同募金委員会

【推進目標2】
在宅生活の自立を支える活動の推進

(1)関係機関との連携による相談体制の充実
◇大田市福祉総合相談事業
・一般相談
・専門相談（司法書士相談）
・石見法律相談センター相談会（面談相談・パソコン法律相談）
・関西大学法科大学院出張法律相談

(2)包括的支援の充実
◇生活困窮者に対する支援(生活サポートセンターおおだの取組み)
・自立相談支援
・家計相談支援
・就労準備支援
◇資金貸付事業
・生活福祉資金貸付
・民生融金貸付（生活資金・緊急現金）
◇フードバンク事業
◇入居債務保証支援事業
新規 ◇多機関の協働による包括的支援体制構築事業（「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業）

(3)個別課題に基づく地域づくり
◇こころのたより発送事業
◇重度身体障がい者移動支援事業の実施
◇学生服等再活用事業
◇福祉委員活動の推進（再掲）

(4)当事者団体などへの支援
◇大田市身体障がい者福祉協会事務局受託
◇大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託
◇大田市老人クラブ連合会活動支援
◇福祉バス運行事業

【推進目標3】
ボランティア活動の推進

(1)ボランティア人材の養成とスキルアップ
◇ボランティア交流事業
◇奉仕員養成事業（手話・点訳・音訳）
◇地域福祉活動サポーター養成事業（聞こえのサポーター、車イス移動介助ボランティア、ガイドヘルプ、重度身体障がい者移動支援事業運転ボランティア）
◇ボランティア講座受講者への情報提供と活動支援
◇ボランティア・市民活動センターの運営

(2)ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化
◇ボランティア・市民活動センターの運営（再掲）
◇緩和ケア啓発事業への助成・支援
◇ボランティア保険に関する手続き事務
◇収集ボランティア活動の推進
◇企業・団体が行うボランティア活動との連携
◇民間助成事業（愛のともしび募金等）に関する情報提供

(3)災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化
◇災害ボランティア活動の推進
◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣
◇島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定に基づく被災者支援活動
◇災害訓練等への協力
◇災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備

【推進目標4】
福祉の心・人材の育成

(1)住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成
◇福祉教育推進事業
◇福祉委員活動の推進（再掲）

(2)ライフステージに応じた福祉教育の推進
◇地域・学校及び企業等へ向けた福祉教育の推進
◇生活支援体制整備事業（再掲）
◇地域福祉力アップ推進事業（再掲）

(3)福祉に関する情報提供及び啓発の推進
◇あいサポート運動の推進
◇福祉委員活動の推進（再掲）
◇障がい者週間啓発事業の開催（人権週間啓発事業との共催）（再掲）
◇福祉器具の貸出
◇点字・声の広報の発行

【推進目標5】
権利擁護の推進

(1)権利擁護体制の充実
◇福祉サービス利用援助事業
・日常生活自立支援事業の推進
◇法人後見事業
・法人後見運営委員会の開催
・出雲成年後見センターへの参加
・法人後見の受任
◇大田市成年後見支援センター事業
・相談支援活動の充実
・後見人（市民後見・親族後見人）のサポート
・市民後見人登録審査会の開催
・市民後見人の監督・支援

(2)啓発活動の推進
◇成年後見制度出前講座の開催

(3)福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携
◇大田市地域医療支援対策協議会との連携
◇大田市障がい者自立支援協議会との連携
◇大田市圏域自死予防対策連絡会との連携

【推進目標6】
組織体制の強化

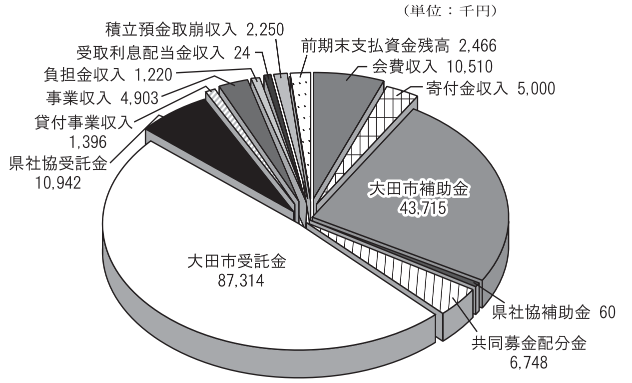
(1)広報活動の充実
◇社協だより発行
◇ホームページによる活動紹介・情報提供
◇点字・声の広報の発行（再掲）
◇ケーブルテレビなどの広報媒体の活用

(2)事業推進体制の強化
◇法人運営透明性の向上
・理事会・評議員会・監査会の開催
・苦情解決のための第三者委員の設置
◇職員の専門性向上と資格取得促進
◇組織横断的な事業推進体制の構築

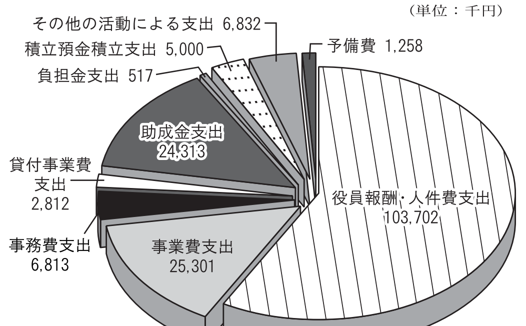
(3)財源の確保
◇会員制度の周知と会員拡大
◇民間助成金などの積極的活用

平成30年度 資金収支予算

収入 176,548千円

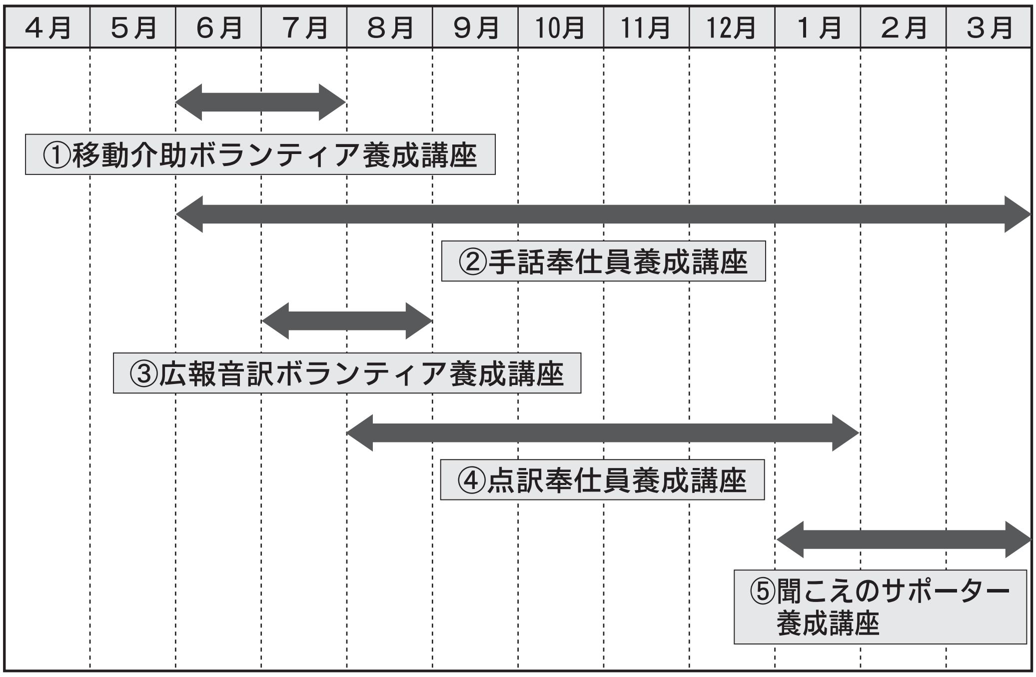


支出 176,548千円



平成30年度

ボランティア養成講座等開催予定



①移動介助ボランティア養成講座（６月～７月頃予定）

身体障がい（視覚障がい、肢体不自由）についての基礎知識及び移動介助（ガイドヘルプ、車イス移動介助）に必要な知識及び技術を習得する

②手話奉仕員養成講座
（６月～H31年３月　※２年課程の為、次年度も継続実施）

手話で日常会話を行うために必要な知識や技術を習得するとともに、関連する福祉制度等について、２年間（前期:30年度、後期:31年度）をかけて学ぶ

③広報音訳ボランティア養成講座（７月～８月頃予定）

文字による情報入手が困難な方へ、広報誌等生活に必要な情報を「声のたより」としてお届けするため、音訳に必要な知識及び技術を習得する

④点訳奉仕員養成講座（８月～H31年１月頃予定）

点字及び点訳に関する学びを通じて、視覚障がいのある方への理解を深めるとともに点訳に必要な知識や技術を習得する

⑤聞こえのサポーター養成講座（H31年１月～３月頃予定）

聴覚障がいに関する理解を深めるとともに、コミュニケーション手段の一つとして有効な筆談について必要な知識及び技術を習得する

※日程は詳細が決まり次第、随時、社協だより及び大田市社協ＨＰ等にて
お知らせいたします

平成30年度 手話奉仕員養成講座の受講者を募集します

この講座はろうあ者の大切な言語である手話を学ぶことを通じて、聴覚障がい者への理解を深めるとともに、手話で日常会話を行うために必要な知識や技術を習得することを目的として開催します。

２年間（前期：30年度、後期31年度）全46回をかけてゆっくりと学ぶことができます。手話を学びたい方、手話に興味・関心のある方、基礎から一緒に学びませんか？お仕事終わりのご参加も可能です！

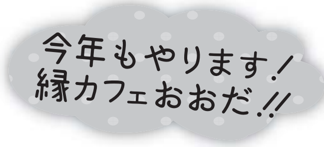
＜日程＞前期21回　原則第２・４水曜日 19：00〜20：30（開講式６月13日 19：00〜）

H30. 6月	13日・27日	10月	6日・10日・24日	2月	13日・27日
7月	11日・25日	11月	14日・28日	3月	13日・27日
8月	8日・22日	12月	12日・26日	後期日程へ続く（H31.4月〜H32.2月まで全25回）	
9月	12日・26日	H31. 1月	9日・23日		

会　場　大田市民センター２階 社会福祉協議会 会議室
対象者　手話に関心があり、講座修了後は手話サークルに参加するなど手話活動が出来る方
定　員　20名程度
受講料　無　料（但し、テキスト代及びボランティア保険料は実費負担3,600円程度）
締　切　平成30年６月１日(金) まで
申込み・問合せ先　大田市社会福祉協議会地域福祉課
電話:(0854) 82−0091　FAX:(0854) 82−9960

大田市ボランティア・市民活動センター主催　平成30年度 ボランティア交流事業

第３回 縁（えん）カフェおおだ



縁カフェおおだは地域を良くする取り組みに関心がある人と人との出会いや交流を図り、大田市のボランティア・市民活動をさらに盛り上げていくためのプロジェクトで、今回で第３回となります。

すでにボランティアに取り組まれている方も、興味はあるけど一歩が踏み出せていない方も、**ボランティアに興味がある方はどなたでも大歓迎です！**

交流を楽しみながら新たな「いっぽ」を踏み出しませんか？

平成30年 6月2日(土) 13:30〜16:00
大田市民会館２階　第一会議室

内　容　活動紹介・情報交換・フリートーク
参加費　**100円**（当日お持ちください）
申込み　**5月25日(金)まで**に下記連絡先まで
大田市社会福祉協議会　〒694-0064 大田市大田町大田イ128
電話:(0854) 82−0091　FAX:(0854) 82−9960

老連だより

福祉展

３月３日(土)・４日(日) 市民センター４階において福祉展を開催しました。
市内の老人クラブ会員や福祉施設から書・陶器・手芸品・着物リメーク品等力作ぞろいで、作品450点、来場者延べ553名と賑わいました。
「フリーマーケット」もたくさんの方に協力していただき、ありがとうございました。

クラブ紹介

大田　多根みかど会

平成29年度会員数は、男性４名女性16名の20名です。
最高89歳最年少69歳です。
事業としては学校稲作田植え、秋の収穫作業にそれぞれ６～７名が講師で参加し地域の子供たちとの交流を行っています。
町づくりセンターの庭木の剪定や庭の草刈等奉仕作業、又しめ縄やミニ米俵などは藁細工の講師２名の協力で、会話をはずませ、楽しみながら作っています。
日帰り旅行は、松江へサーカスの見物に会員以外も含め20名で実施しました。
小中学校の登校時見守り活動を３人１組で、毎週水曜日に実施しています。

大田　水上銀笑会

私達、老人クラブ「銀笑会」は親睦とふれあいをモットーに、町内の諸事業に参加をすると共に「会食サロン」や「ちぎり絵教室」の開催、また水上地区社会福祉協議会の事業への参加・市老連のゲートボール大会への参加等できる限りの活動を行っております。
互いに年を重ねていきますので、背伸びせず身の丈にあった活動をして行きたいものだと話し合っております。

行事予定

ダイヤゾーンボール大会

期日　５月31日(木)　受付　8：40
会場　温泉津総合体育館

グランドゴルフ大会(島根県大会予選兼)

期日　７月９日(月)　受付　13：00
会場　大田運動公園　多目的広場

平成29年度　芸能大会開催

２月14日(水)、大田市民会館大ホールにおいて、芸能大会を開催しました。
当日は、多彩な演目で芸達者な出演者（21団体、総勢130名）の方々が日頃の練習の成果を披露し、来場された会員の皆さんや独り暮らしの高齢者、福祉施設の皆さんからあたたかい拍手がおくられました。
また本年度は特別出演で歌手の山口ひろみさんを招き、楽しいステージとすばらしい歌声を披露してもらいました。

「踊り　川合福吉会」

「大正琴　大田ことぶき会」

「歌と踊り　加寿智会」

「ダンス　ゴールドの会」

「踊り　水上銀笑会」

特別出演
「山口ひろみさん」

ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

(平成30年2月～平成30年3月受付分順不同・敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

○香典返し寄付

大田　山本　優　藤井　義久
松村　誠　岡田　秀之
清水　義和　三上　敏朗
三森のり子　嘉田　志信
中田　昭彦　内藤　温穂
吾郷　邦恵　藤田　節子
松村　治史　中出　弘
富山　和田　政人
朝山　岩谷　敏次　光田　佳正
嶋林　康彦　岩谷　洋司
波根　長澤　和男
久手　三宅　裕則　岡田　豊志
中村　孝雄　生越　博子
原　朝子
鳥井　坂本美智子　山﨑　勝治
長久　原　脩　福田　邦夫
梅原　和子
静間　浅原　明夫
久利　清水　繁　竹下　藤子
大森　吉岡　修　坂本しず江
祖式　中田　義雄　菅森　孝夫
温泉津　田儀　道子　花田　憲治
仁摩　島田　武彦　橋目　裕二
荒瀬多鶴子　林　昭紀
谷本　成徳　武田恵美子
出雲市　道上　伸宏　知野見　明
福島県　吉川　哲也
東京都　岡田　哲
大阪府　月森　広平
兵庫県　森山　淑美

○一般寄付について

大田　松本　孝幸

○食品・学生服等の寄贈

大田　尾田　洋子
久利　小田佐　幸
祖式　石原　矩
温泉津　戸島長四郎
カーブス島根大田　フードドライブメンバーの皆様

他多数の方々に
ご協力いただきました。

以上、739,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブ、ペットボトルのキャップも多数いただきました。

就任挨拶

事務局長　**堀　亨**

この度、4月1日付けをもって大田市社会福祉協議会事務局長に就任いたしました。

私は、この3月までの2年間「おおだふれあい会館」において主に人権行政の推進に関わってきました。業務は今後「地域共生社会」の実現を目指す社会福祉協議会の仕事と共通する部分も多くあり、これまでの経験を活かし微力ながら地域福祉の推進に努めてまいりたいと思います。

またこれまでと同様、民生児童委員のみなさん、各種関係団体のみなさん等の協力により本会の取り組む活動の周知徹底、職員全員が高いアンテナを張り地域の中で気になる人の早期発見に心がけ、最良の支援に繋げていきたいと考えていますので、今後ともより一層のみなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

編集後記

新年度に入り、楽しい春、緊張の春、不安の春、心機一転で嬉しい春など様々な春がありますが、皆さんはどんな春を過ごしておられますか。

私は感謝の春です。昨年度は、経験する事全てが真新しいことばかりで分からない事が多く、たくさんの人に支えられながら勤務できたことに感謝しています。今年度は、その感謝を昨年度関わっていただいた人、これから関わる人に行動で返していきたいと考えています。

また、この業務を通じて人とのつながり、支え合う事の必要性を肌で感じるとともに、その重要さが分かりました。

最後に大田市社会福祉協議会は、平成30年度も地域住民の皆様方のご支援・ご協力をいただきながら「福祉のまちづくり」を推進することを目的に日々精進してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。（島）